

2023年2月1日(水)第一水曜祈祷会

マルコの福音書6章1～13節

「つまずきとなるもの」

■マルコの福音書5章35～43節 『ただ信じていなさい』 *イエスは病気と死を支配する方。

- ①イエスさまは長血をわずらった女の癒しを行った。その時、ヤイロは娘の死を聞かされた。
- ②しかし、イエスさまは狼狽えるヤイロに、「恐れなくて、ただ信じていなさい」と告げられた。
- ③人々があざ笑う中、イエスさまは両親と三人の弟子だけを連れて、少女を生き返らせた。

■マルコの福音書6章1～13節 『つまずきとなるもの』

1. 郷里における宣教(6章1～6a節) *「ナザレ」はイエスの生まれ故郷。

- ①イエスさまが弟子たちを伴ってナザレに行かれたとき、人々はどうしましたか。
→
- ②イエスさまの教えを聞き、力ある奇跡に驚いた人々は、それをどう思いましたか。
→
- ③町の人々は何を根拠にして、このような態度をとったのですか。
→
- ④預言者はどうして自分の郷里、親族、家族の間で敬われないのでしょうか。
→
- ⑤人々の不信仰はイエスさまが彼らのところで働くことにどんな影響を与えましたか。
→

2. 弟子たちによる宣教(6章6b～13節) *「汚れた霊」とは悪霊と同義語。

- ①イエスさまは十二人を呼び、彼らにどんな権威を授けられましたか(7節)。
→
- ②弟子たちを軽装で遣わされたのはどんな理由からですか(8、9節)。
→
- ③「一軒の家に入ったら…その家にとどまりなさい」とはどういうことですか(10節)。
→
- ④「足の裏のちりを払い落しなさい」とはどういう意味ですか(11節)。
→
- ⑤イエスさまに遣わされた弟子たちはどのような働きをしましたか(12、13節)
→

【適用と分かち合い】

- ①イエスさまの郷里での伝道は、全く無駄だったのでしょうか。
- ②イエスさまに遣わされた弟子たちはどんな思いで出ていったのでしょうか。
- ③伝道において大事なことは何ですか。